



編集後記

著者	櫻井 俊郎
引用	人間社会学研究集録. 2020, 15, P.189-189
その他のタイトル	Editorial
URL	http://hdl.handle.net/10466/00016823

編集後記

『人間科学研究集録』第15号をお届けします。今号には7本の研究論文を掲載することができました。

本誌には様々な分野の論文が掲載されます。学問領域により論文の流儀が微妙に異なるところもあるでしょうが、論文として押さえておかなければならない基本的なポイントは、ほぼ共通していると言って良いでしょう。問題の立て方は適切か、研究状況をしっかりふまえているか、その中で独自性のある研究になっているか、資料を正しく用いた説得力のある論証がなされているか、導かれた結論は妥当と考えられるか、研究公正上の配慮は十分行き届いているか、等々。査読者というものは、実に多くの点に目を配らねばならないこととなります。

掲載された7本の論文は、複数の査読者が精読して疑問や修正意見等を提出し、執筆者がそれを受けて再検討を重ねた結果としてあります。査読で厳しい意見をたくさん突きつけられた、と感じた執筆者もいたかもしれません。しかし、そう感じられたとしたら、それは論文を少しでも良いものに仕上げられるよう、査読者がそれだけ真摯に検討してくれた証でしょう。執筆者本人にしても、査読意見を受けて加筆修正し、その修正原稿に対する再査読の意見をもらってもう一度修正を加え、といったことを繰り返して完成稿を仕上げゆく過程は、きっと大変だっただろうと思いますが、そうしたプロセスは得難い経験になった筈です。活字になって公刊される自らの論文は、投稿したばかりの初めの原稿よりも、ずっと良いものに仕上がったに違いありません。それは、厳しい査読に頑張った、執筆者自身の誇るべき成果でもあります。

今回執筆された皆さんにはこの経験を糧に、今後も質の高い論文を目指して精進してもらいたいと思います。また今後、投稿をお考えの方々には、ご指導の先生方とよく相談し、論述内容や論証プロセスだけでなく、書式や体裁などもしっかり整えて、完成度の高い原稿を準備していただくよう望みます。特に留学生の皆さんには、日本語による論文執筆の良い機会になりますので、頑張ってください。

最後になりましたが、ご多忙の中、査読の労を執って下さった先生方には、改めて御礼申し上げます。また、英文チェックを快くお引き受けいただいた徳永アン先生・楊眞淑先生にも、編集委員一同、篤く御礼申し上げます。

(文責 櫻井 俊郎)